

翼イレブンサッカークラブ

～H29年度クラブミーティング～

はじめに

- ・本日はご参加ありがとうございます。
- ・クラブミーティングは、子どもと保護者そしてコーチを含めて、1年間を楽しく過ごすためのミーティングです。
- ・内容は、チーム・子ども・サッカー・保護者向けの4つです。
- ・明日からの練習では、思いっきり楽しめるようにしたいですね！
- ・ではみなさま、宜しくお願いします！
- ・NO FOOTBALL, NO LIFE!

1, チーム

～楽しく活動するために～

1, チーム

- ・翼イレブンSCは、子ども・保護者・コーチで構成されています。

「子どもたちの主体的な活動を通して、サッカーを楽しむ」
 「子どもの側に寄り添って、コーチ」

翼は、子どもが中心のサッカークラブです。
 そしてチームは子ども・保護者・コーチで成り立っています。

翼イレブンSC

1, チーム

・みんなが楽しくサッカーするための「約束」。

- 1, 死なない、死なせない。
- 2, 協力しよう。
- 3, 他人（仲間・相手）の意志を尊重しよう。
- 4, 自分を大切にしよう。
- 5, 他人の意見を聞く、聞く耳を持つ。
- 6, 自分の意見を言う、伝えよう。
- 7, 自分のことは、自分でしよう。

1, チーム

・子どもたちがサッカーを楽しむための「大人の約束」。

- 1, 見守る。
- 2, 失敗を許容する。
- 3, コーチと子どもに一任する。
- 4, コミュニケーションを取りましょう。
- 5, たまには一緒に、はしゃぎましょう！

1, チーム

・サッカーを楽しむための、考え方。

- 1, サッカーは最高におもしろい！楽しもう！
- 2, カードゲームと同じレベルで、勝ち負けを楽しみましょう。
- 3, スポーツは楽しむもの。体育は教育。サッカーはスポーツ。
- 4, 上手い子も、そうでない子も一緒に出来るのがサッカー。

$$1 + 1 = 2 \quad 1 + 2 = 3 \quad 1 + 3 = 4$$

$$2 + 2 = 4 \quad 2 + 3 = 5 \quad 2 + 4 = 6$$

$$1 \times 1 = 1 \quad 1 \times 2 = 2 \quad 1 \times 3 = 3$$

$$2 \times 2 = 4 \quad 2 \times 3 = 6 \quad 2 \times 4 = 8$$

$$3 \times 4 = 12 \quad 3 \times 5 = 15 \quad 3 \times 6 = 18$$

1, チーム

・大切な言葉。

「学ぶことをやめた指導者は、教えることもやめなければならない」

「人は鏡。子どもは大人の鏡。子どもには大人が映し出されている」

「平凡な教師は言っただけでかせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし、最高の教師は、子どもの心に火をつける」

「子どもは、自分次第でどこまでも伸びていける」

1年の流れ

- ・ 4月 クラブミーティング
- ・ 5月 U12三木遠征
- ・ 7月～8月 U11網野遠征、U12/11富山遠征、U10遠征、BBQ
- ・ 12月 全学年冬期合宿
- ・ 1月 初蹴り
- ・ 3月 卒団式

1年の流れ (その他)

- ・ スポーツ体験
- ・ 味覚狩り
- ・ キャンプ
- ・ 街探索
- ・ レクリエーション
- ・ ワークショップ(勉強会)
- ・ 講習会(講師)
- ・ 飲みニケーション(*^_^*)

大会

- ・ U12 リーグ戦 前期・後期、サンガカップ
- ・ U11 リーグ戦 前期・後期、市長杯
- ・ U10 リーグ戦 7月末～12月、ヤマハウィングDBカップ
- ・ 日本サッカー協会 選手登録
- ・ 京都府サッカー協会
- ・ 京都サッカースポーツ少年団連盟
- ・ 伏見支部(深草・伏見・下鳥羽・羽東師・醍醐・トライル・翼)
- ・ ローカル大会(地域やチーム主催大会)

オフ期間

- ・ オフ期間の採用について(約1ヶ月)
- ・ サッカーのやり過ぎによる弊害
- ・ 熱中症対策(日中が暑すぎる、クーラー生活の弊害)
- ・ サッカーをしない事で、サッカーをしなくなる
- ・ サッカー以外をする事で、感性の豊かな人になる
- ・ 家族や友達と過ごす、「遊ぶ!」
- ・ 身体を休める事で、身体的発育が促される
- ・ サッカーを毎日、スクールも毎日、怪我してもプレー、休みは正月と盆だけ、トレセン、選抜に入って・・・という子であればあるほど「高校生になった辺りで身長的に小さい」事に気づきました。「早熟」は「ノビシロ」を奪うのです。

2, 子ども

～翼で取り組むこと～

2, 子ども

- ・自分（自分たち）でやれる事は、自分（自分たち）でやってみよう。
- ・自分（自分たち）でやれる事を、増やそう。
- ・失敗したら、自分（自分たち）で「なぜ上手くいかなかったのか？」を考えて、また挑戦してみよう。

2, 子ども

- ・みんなは、「どんな人」になりたいですか？
- ・なりたい自分に近づくために、「目標」がある人は、目標を目指そう。
- ・オンザピッチとオフザピッチは、つながっている。
- ・サッカーは、サッカー以外でも上手くなれる。

2, 子ども

- ・レベルアップのための、取り組み。
1. 何かのリーダーをしてみよう。
 2. リーダーを助けられる人になろう。
 3. サッカーノートを書いてみよう。
 4. 目標達成表を書いてみよう。
 5. 自分で準備と片付けをしよう。
 6. 道具や持ち物を大切にしよう。
 7. 自分も仲間もレベルアップできるようにしよう。
 8. どうでもいいや、より、こうしたい！という「こだわり」

2, 子ども

- ・本気で、サッカーが上手になりたい人は目指してみよう。
- 1, 全力をつくせる選手。
- 2, 努力を続けられる選手。
- 3, どんな場所でも、堂々とプレーする選手。
- 4, 最後まで、あきらめない選手。
- 5, 仲間の助けになる選手。
- 6, チームを勝たせる選手。
- 7, 仲間から応援される選手。

2, 子ども

- ・最後に。
- ・翼には、全員にチャンスがあります。
- ・翼には、自由があります。
- ・でも、自由と自分勝手は違うことを知ろう。
- ・翼では、自分次第でどこまでも伸びていきます。
- ・悩んだら、悩みは相談しよう。
- ・頼ったり、頼られる人になれば良いね。

2, 子ども

- ・サッカーをもっと好きになろう！
- ・サッカーを知れば、もっと好きになる。
- ・サッカーが出来る幸せ。ありがとう。
- ・そして、思いっきりサッカーを楽しもう！
- ・NO FOOTBALL,NO LIFE!

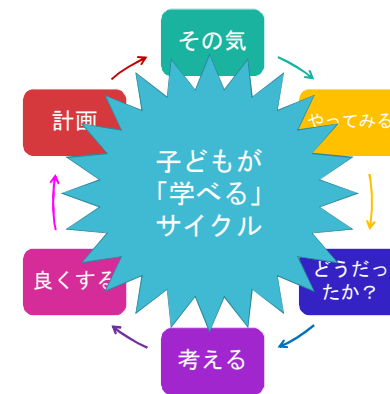
3, 大人

子どものために大人が出来ること

3, 大人

- 子どもたちが「成長」出来るように、大人が「サポート」するスタンスをお願いします。
- 大人は、上手くやる「方法」を知っています。子どもは、上手くやるための方法を「試す」事で、失敗し、学びます。失敗から学び、次へ活かします。
- 結果ではなく「過程（プロセス）」を大切にしましょう。
- 偶然結果が出る事もあります。そんな時は、「上手く行って良かったね！でも他のやり方もあるかも知れないよ。」と、新たな発想を引き出します。

3, 大人



3, 大人

- 「考えて行動する」力を育みたいと思っています。
- 全自動洗濯機ではなく、手洗い洗濯が子どもに必要です。
- 子どもは本来「やる気」を備えています。それをさらに、「その気」にさせるのが私たちの役目です。
- その気を「そぐ」のは、過程や結果に対する大人のリアクションです。上手くいったら「良かったねえ」、上手くいかない時は「残念だったね。どうしたら上手くいくかな？」と、叱らず問いかけることが大切です。
- 子どもは、任せれば出来るようになります。
- まずは、子どもを認め、任せ、失敗から学べる環境を作っていきましょう。
- 忘れ物は届けなくてくださいね。

3, 大人

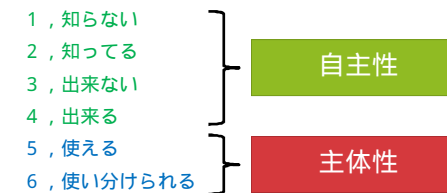
- サッカーも、考えてプレーするスポーツです。
- 普段の生活面で考えて動く習慣がつくことで、サッカーのプレー一面も良くなります。
- サッカーは、サッカー以外で上手くなる事が出来ます。

3, 大人

- 子どもたちを、たくさん褒めてあげてください。
- 褒めるのは、結果でなく、過程を褒めて下さい。
- 子どもを、認めてあげてください。
- 子どもを、信頼してあげてください。
- でも、こどもを信用しないで下さい。失敗はつきものです。
- 時には、感情的になっても大丈夫です。人間です。
- でも、落ち着いたら、叱らず問いかけてあげてください。
- 「どうしたら良いかな？」
- 自分の子以外の子も応援してあげてください。

3, 大人

- 子どもには、成長度に段階があります。



3, 大人

トップダウン

- リーダーが引っ張る。
- 良さは、スピード。
- リーダーが学べる。
- 物事の、スムーズなやり方を学べる。
- 問題は、仲間の意見を集約しない所。
- 仲間に考える力がつかない。

ボトムアップ

- みんなでビジョンを共有する。
- 良さは、みんなで学べる事。
- リーダーを育てられる。
- フォロワーも育つ。
- 問題は、失敗が起こる事。
- スピードもかなり遅い。
- 最初は、もめる。

3, 大人

- 子どもたちには自由があり、自由と自己責任を学びます。
- 子どもは大人と違って、落ち込みからの立ち直りが早いのが特徴です。
- 子どもの意見には同意はしても、同調しない。
- 年齢や時期によって、考え方や受け止め方が変わります。
- 段階にあった対応・対処をすることで、子どもたちの成長を促すことが出来ます。
- 時には時間が必要な事もあります。
- 結果が出ないと焦ってしまいますが、落ち着きましょう。

3, 大人

- 2-6-2の法則
- リンゲルマン効果
- 顕在意識と潜在意識
- 良い言葉、良いイメージ
- 悪い言葉、悪いイメージ
- 食育

3, 大人

- 週末サッカーのチームです。
- 学校や家庭での様子を教えていただくと大変助かります。
- なぜなら、生活とサッカーは関係性があるからです。
- 何か問題が起きたとき、罰を与える前にしておくことがあります。まずは、事前に約束事を決めておきましょう。
- 子どもとの約束はお互いに守りましょう。
- 可能な限りのサポートをお願いします。
- 子どもが自分で試合会場や練習会場へ行けるようになる事は素晴らしい事です。

4, サッカー

～サッカーを知れば、もっと楽しくなる～

4, サッカー

- サッカーは、得点を取り合うスポーツ。
- サッカーは、2つの場面、4つの瞬間、13個の要素で成り立っている。
- 2つの場面 1, 攻撃 2, 守備
- 4つの瞬間
 - 1, 組織攻撃 2, 守備から攻撃の切り替え
 - 3, 組織守備 4, 攻撃から守備への切り替え
- 13個の要素

4, サッカー

- 考えながらプレーする
P・A・D+E (みる)・(選ぶ)・(決める)+ (行う)
- 狙いを持つ (戦術的意図)
- 個人技術
アビリガード (巧みさ)
インテンション テクニカ (意図のある技術)
(パス、コントロール、ドリブル、1v1の守備 など)
- 個人戦術
攻撃：幅、深さ、デスマルケ
守備：マーク、カバー、ベルムータ

4, サッカー

- テクニックは、反復練習で身につく！
- 上手さは、対人練習で身につく！
- 賢さは、グループ練習で身につく！
- ずるさは、遊びで身につく！
- 早さは、準備で身につく！
- 速さは、走って身につく！
- 強さは、ぶつかって身につく！
- たくましさは、言い訳しなければ身につく！
- 自信は、自分でやった分だけ身につく！

4, サッカー

- サッカーは、スポーツ。
- スポーツは、楽しみであり、遊び。
- 本気で楽しみ、本気で遊ぼう。
- スポーツには、ルールがある。
- ルールの前に、フェアがある。
- フェアとは、公平である事。
- チームメイトも、対戦相手も、審判も、みんなサッカー仲間。

4, サッカー

- 子どもの主体的な活動を通じて、サッカーを楽しむ。
- これが、翼の考え方です。
- 自分たちのサッカーを、自分たちで思いっきり楽しもう。
- もちろん、コーチたちも全力で楽しむし、全力でサポートします。

最後に

- 今日はお集まり頂きまして、ありがとうございました。
- 子どもたちが伸び伸びと、いきいきとサッカーを楽しむためには、その裏付けがあることをお伝えしたくてクラブミーティングを開かせていただきました。
- 子どもたち、そして保護者の皆さんに安心して参加して頂けるサッカークラブを目指します。
- 本日はご参加ありがとうございました！

